

# 登龍吾等

登龍中学校の教育目標  
他を思いやり 自ら学び  
鍛え合い やり切る生徒  
～自立・共生・創造～

## 後期スタート

### 可能性の種を撒き、どう育て、花を咲かせるか（校長講話より）

後期も引き続き、「なかまのしあわせのために」自立・共生・創造の3つのキーワードをもとに自分づくり、集団づくりを頑張っていきましょう。

後期に向けて、今日は「可能性」のお話をします。

みなさんは様々な可能性の種を持っています。

そこから咲く花は一つとして同じ形や色のものはなく、花の咲く時期も異なります。

しかし、必ず花は咲きます。

「あきらめたら、そこで、終わりです。あきらめたら、終わりなのです。」

教師の仕事は、指導や助言をしながらみなさんが持っている可能性を信じ、花開くことを待っています。

みなさんは、自分のよさや可能性について考えたことがあるでしょうか。

人前で上手に話せない。運動が苦手。勉強してもなかなか点数が伸びないなど、悩むこともあるでしょう。

そんな時、何でもできる人をうらやましく思うことがあるかもしれません。しかし、自分をよく見つけてほしいと思います。自分にしかないよさがあります。自分で自分のよさを認めてあげてください。また、自分の奥底に潜んでいるよさや可能性を信じてみることも大切です。

なぜそう思うようになったのか。小学校の担任をしている時、ある児童がこう言いました。「ぼく、競輪選手になりたい」と。

私は、「そうか…。がんばれよ。」という声かけをしたことがあります。

その一方で、「プロの競輪選手なんて難しい夢だな…。でも。応援はしてあげないとな」という複雑な気持ちがあったのを覚えています。

それから、数年後、その子は、インターハイ(高校生の夏の全国大会)で優勝し、日本一の選手になっていました。現在は、夢に向かってあきらめず、自分を信じて努力を続けてきたことで、プロの競輪選手として活躍しています。

私は、その子の夢を信じきれなかった自分を恥じた瞬間でもありました。

それからは、教師としては何もできないけれど、生徒のみなさんの可能性を信じ、応援し、支援すると決めたのです。

「あきらめたら、そこで、終わりです。」自分を信じて、目標に向かって努力し続けてください。

今年の後期、これは頑張ったなといえる自分づくりをしていきましょう。

